

# 俺は、木で喰っていく。

多摩の森は、良材の宝庫だ。  
今、これを使わずしてどうする？  
森と都市をつなぐ製材所の仕事を「森の番長」が熱く語る！

**講師**  
沖倉喜彦  
（物産製材所代表取締役）

2014年1月19日(日)  
12:45開場 13:15開会  
【会場】 げんせつプラザ東京  
【参加費】 無料 【定員】 200名



富士山をバックに記念撮影。参加者は29人でした

シニア友の会は昨年12月1日(月)〜2日(月)、世界遺産となった静岡県「三保の松原」へ一泊のバス旅行へ行ってきました。参加者は29人。2日間とも、こんなにはっきりと富士山が見えるのは珍しいと言われたくらい、の晴天に恵まれました。1日目は船上、色々な角度から富士山を見ることができました。侠客、清水の次郎長のお墓観光では、感動して涙を流す参加者も。2日目は砂浜散策。羽衣伝説の舞台でもあり、天女が羽衣をかけたという「羽衣の松」は2010年に3代目となりまして。干物センターで両手に抱えきれないほどお土産を購入して宅

### シニア友の会

## 60年前の修学旅行を思い出す 世界遺産「三保の松原」へバス旅行

急便で送る姿も見られませんでした。参加者からは「60年前の修学旅行を思い出した。昔は船で行ったから当時は島だと思っていた。」と懐かしむ声が聞かれました。



ヤマハRZ-250と一緒に写っているのはオーナーの戸田さん。「80年代の2ス

## 趣味一番

戸田 龍也

トロク車は子供の頃から憧れ」とのこと。10年ほど前に手に入れた自慢の愛馬です。80年代は免許をとらせない、買わせない、乗らせないの「3ない」運動が実施されるほど巷にオートバイがあふれた全盛期。煙を吐きながら大型車を追いかけてます「ナナハンキラー」ことRZ-350を探していた戸田さんですが、残念ながら程度の良い車両は入手困難とのこと。やっと手に入れた250は実走メーターにキック一発始動のミニトコンデション。しかもフロントの足回りだけでも350用のダブルディスク仕様に変更されているなど、オリジナルの雰囲気を生かした自慢のカスタムが随所に光る。盗難防止のため、普段はガレージに隠して、仲間とのツーリング以外では乗らないほど大切にしています。

特別団体契約「サンクス・フェスティバル」パスポート  
ご利用期間 2014年1/6〜3/14

大人 ¥5,500  
小学生 ¥4,600  
小学生以下 ¥3,800

割引チラシ窓口で配布中

### 職長・安全衛生責任者教育 (リスクアセスメント含む)

とき 2014年2月22日(土)・23日(日)  
ところ 東京土建多摩西部支部会館3階  
受講料 13,000円と証明写真1枚  
※東京土建多摩西部支部の窓口で申込受付中



RZ-250は350用ダブルディスクとキック一発始動が自慢

多摩西部支部のホームページは多機能携帯電話にも対応しています

# 新春 2014 もちつき大会

2014年1月26日(日)  
午前10時30分より  
和田橋下自由広場  
(多摩西部支部会館ヨコ)

家族参加: 1,000円  
個人参加: 500円

**ビンゴで豪華景品が当たる**

参加希望の方は申込書に記入して支部へ提出するか電話・FAXで事前にお申し込み下さい(×切は1月22日)  
東京土建多摩西部支部 TEL.042-546-1577 FAX.042-546-1576 担当: 佐藤



## もちつき大会 参加申込書

氏名	分会
参加人数 <input type="checkbox"/> 家族参加(全員で <input type="checkbox"/> 個人参加	連絡先 人)